

小中学校に太陽光発電パネルの設置を！

菅野 恭子

【質問】今年度の新経済対策中、小中学校等のエコ、耐震、情報等の推進化を目的とするスクールニューディール構想の太陽光発電パネル設置については、費用の50%の国庫補助を含む最大97.5%までを国が支援できる事業であり、既に耐震化終了の本市は当事業で積極的に低炭素社会の推

進環境教育そして雇用の創出のためにも小中学校に同パネル設置をぜひ検討すべきではないか。
【その他の質問】
○校庭の芝生化について
○第376回定例会で質問した、医学生修学資金貸付制度設置の推進状況について
○ヒブワクチン接種に助成を

新教育長の教育行政に対する基本的考え方について

沼倉 啓介

【質問】長年白石市の教育の発展に寄与された教育長が勇退され、新教育長が着任された。

それらの中において、継続すべきはどのようなもので、変化を要するものはいかなるものか。

トップが代われれば何かの変化があると推測されるのは容易なこと。

前任者との基本的に異なる考え方、視点あるいは行動力学などについて、伺いたい。

新教育長は前任者の執行された市の教育をどのように捉えられておられるか。

家庭教育においても学校教育においても、どのような子

【答弁】【教育長】太陽光発電システムの設置は、学校における環境エネルギー教育に活用でき、またCO2削減効果、電気代の節約等に大きな効果があると理解しているところである。

しかし、現時点ではシステム設置に対する詳細な説明がなく、導入に対する負担補助があるものの、今後における管理費等について大きな不安を抱えているのが事実である。なお、設置に関しては、少

子化による学校の統廃合及び休校や廃校などの将来予測を勘案しながら、対応する必要がある。

したがって、各種の問題や財政事情との調整を図りながら、将来構想の中で検討しなければならぬものと思っ



【答弁】【教育長】本市の教育についての課題は、新年度の「白石市の教育」に掲げており、それを踏襲しながら全力を挙げてその課題解決に向

かっていきたい。

教育は、人間が人間を陶冶する営みであるという言葉がある。形をつくっていくものであるから、どのような像を思い描いて、そこに展開していくかということが大事だと思

っている。

【九つ言葉、十二文】これは小学校の中学年から高学年にかけて、基礎基本の確立だと思

っている。

まさに中学校を終える、義務教育終了の年齢に当たっている。

義務教育が終了するまでに、社会の一員として巣立っていくための基礎を構成していくことが生涯学習で求められるものである。

市の教育にもいろいろな課題はあるが、これらを推進することによって解決につなげていきたい。